



3/20(月) 文化芸能をもっと身近に
「村回り組踊」

沖縄が世界に誇る伝統芸能「組踊」をもっと身近に感じてもらい、普及および地域交流を目的に無料上映会が経塚ゆいまーセンターで開催されました。上映は琉球舞踊から始まり、組踊の演目は組踊の創始者、玉城朝薫の代表作『執心鐘入』が披露されました。会場は開始前には満員となり、立ち見をする人もいたほど盛り上がりを見せました。参加者は「初めて組踊を見て、会話の字幕も出て分かりやすくてとても楽しかった。また来年も来てほしいです」と伝統芸能を堪能していました。



3/15(水) 誰でも弾ける、
素晴らしい音色を披露

中央公民館のサークル「琉球かれん」の演奏が、市役所1階でありました。サークルに通う9人が日頃の練習の成果を披露し、琉球かれんが発する重厚な音色に、ロビーにいた市民は耳を傾けて楽しいひと時を過ごしていました。米須清二郎さんは、「老若男女を問わず、歌いながら楽器演奏ができる喜びを感じてほしい」との想いで琉球かれんを開発。サークルの皆さんは皆さんに心地よい音色を届けるため中央公民館で毎週水曜日に練習しています。また次回の演奏会をお楽しみに♪



2/17(金) 私たちが発信する「浦添市の魅力」

市内小学生が市民憲章を実践し、そこから感じたことを作文にまとめたコンクールの表彰式が、市役所で行われました。最優秀賞は前田小学校の平良菜都さんの「ボーイスカウト活動を通して」と、仲西小学校の与那覇乃野華さんの「もっと広めたい浦添市の特産品」で、優秀賞の6人と合わせ計8人の児童へ表彰が行われました。与那覇さんは「市内のスイーツがこんなにおいしかったことに気づき、もっと多くの人に知ってほしかったので書きました。今後もスイーツめぐりは続けたいです」と笑顔で語りました。



3/11(土) 思いはそれぞれ
浦添市創業・ビジネスコンテスト

「若さ」と「活気のある」浦添市では、起業する人たちへ支援する事業を計画しています。それが「浦添市創業・ビジネスコンテスト」であり、最終審査がピーススクエアで行われました。審査会場は、張り詰めた緊張感に包まれる中、8人のプレゼンターは短い時間の中でしっかりと熱い気持ちを伝えました。コンテストでは宮里護佐丸さんの「摂食・嚥下障がい者のための介護食宅配事業」が最優秀賞に輝き、優秀賞には松川友樹さんと桃原教子さんのプレゼンテーションが選ばれました。会場はプレゼンターの熱い思いに大きな拍手で称えました。



2/18(土) 異国の文化や
遊びなどに触れ国際交流

中央公民館で開催された『グローバルカルチャーフェスタ』では、11か国のALT(外国人指導助手)の皆さんが、それぞれの国の文化や歌、遊び、食べ物等を紹介しました。会場を訪れた子どもたちは、初めて触れる異国の文化に興味津々の様子で、積極的にALTに話しかけ体験し、日本との違いに驚きの連続でした。舞台では、ゆいゆいキッズの迫力ある演舞や、ALTによる伝統的な踊り・アコーディオン演奏・美しい歌唱が披露され、見て、聞いて、話して、触れて、笑顔で国際交流を楽しみました。



3/21(火) 未来の自分へ
3ヶ月健康チャレンジ運動

琉球調理師専修学校の職員10人と生徒31人が、昨年11月から1月までの3ヶ月間、健康チャレンジ運動に取り組み、その結果18人が減量に成功しました。川畑校長は、「体重計にのる習慣が大事で、意識づけが継続の秘訣です。健康のため今後も続けていきたい」と、学校全体で健康づくりの意識を高めることができたことを力強く報告しました。一人では継続が難しい人は、仲間と一緒に続けることで大きな成果につながります。みんなで一緒にチャレンジしてみませんか？



3/2(木) 電子申告e-Taxを体験

松本市長が個人番号カード(マイナンバーカード)を利用した税の電子申告[e-Tax]を体験しました。e-Taxは、インターネットを利用して確定申告等を行うシステムで、税務署に出向くことなく、自宅や職場で申告ができます。国税庁ホームページ上で確定申告書などを作成し、オンラインで税申告ができるものとなります。今年の手続きからマイナンバーの記載が必要になりましたが、電子申告を行えば本人確認書類の提示または写しの提出が不要となります。次回の申告から利用できるように準備しましょう。

